

令和2年度第2回守谷市図書館協議会会議録

- 1 期日等 書面による開催（3月16日（火）～3月30日（火））
- 2 委 員 長谷川委員長
野口副委員長
大塚委員
田中委員
唐木田委員
赤堀委員
赤山委員
中野委員
堀越委員
三澤委員
- 3 事務局 中央図書館
- 4 報告事項 (1) 令和3年度守谷市立図書館事業計画（案）
(2) 「守谷中央図書館の利用に関するアンケート」集計結果
(3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策関係一覧
(4) 令和2年度中央図書館事業実績
(5) 学校図書館支援実績（中間報告）
(6) 令和元年度図書館事業実績評価

配布資料に対する質問、意見等の要旨及び回答

赤堀委員：学校図書館を利用する小中学生の父母（関係者）には学校図書館と中央図書館の連携についての情報が少なからず伝わるであろうと思うが、それ以外の市民には積極的な情報発信が必要ではないか。図書館の学校支援の様子的一端がわかるような展示をするのはどうか。また、学校図書館支援は重要な施策であることをことある毎にアピールして欲しい。

「令和元年度図書館事業実績評価」の総括にもあるように、新たなボランティアの開拓は大きな課題だと思う。短期のボランティアも含め、ボランティアの育成への今後の取組に期待している。

事務局回答：図書館のホームページ等を活用し、図書館の学校支援について周知するよう努めます。

ボランティア育成については、試行錯誤しながら粘り強く取り組んでまいります。

赤山委員：利用者アンケートの継続と、単純集計だけでなくクロス集計の結果の公表を希望する。

図書館事業評価の総括で、計画的な司書職の採用に言及しているが、実施されることを要望する。また、学校図書館との連携について、継続するとともに一層の充実を要望する。

第三次守谷市子ども読書活動推進計画の本編にはブックスタートが明記されているが、図書館事業計画（案）には見当たらないので、あったほうが良いと思う。

事務局回答：利用者アンケートについては、今後も継続してまいります。集計方法については、今後の課題とさせていただきます。

計画的な司書職の採用については、継続的に要望いたします。また、学校図書館との連携についても継続してまいります。

ブックスタートについては、ご指摘のとおり図書館事業計画に盛り込んだ上で、公表いたしました。

大塚委員：協議会資料が大変見やすく、読みやすい内容に工夫されていて、写真や表添付等々は、協議会委員として資料作成の意図を把握すること

に役立った。

コロナ渦の難しい状況の中で、庁内の協働取組他で創意工夫された事業内容の企画・実施で成果を得られた姿勢に敬意を表する。

若い世代のボランティア誕生に大いに期待する。若い人たちが負担を感じすぎないように、子どもたちの笑顔を楽しみながら長く続けてくださるよう図書館職員の皆様のご支援・人材育成をお願いしたい。

図書館利用へのワクワク感を刺激できるような「お楽しみ袋」「わくわく宅配本」「ブックパック」などの名称及び内容、仕様等々取組について、今後も一層の工夫と継続を期待する。

広報もりや「図書館へ行こう」は守谷市の教育・文化施設の大変素晴らしい情報発信欄であり、今後も定着と充実を期待する。

事務局回答：伝えたい事柄を、分かり易くお伝えできる資料作成に、今後も努めてまいります。

庁内各課との連携については、今後も積極的に努めてまいります。

新たなボランティアの開拓とともに、現ボランティアへの支援及び育成に努めてまいります。

利用者の皆様に楽しんでいただける企画を考えるとともに、図書館の情報発信にも努めてまいります。

唐木田委員：図書館事業計画（案）の3市民協働によるサービスの充実②生涯学習機会の提供の、「市民団体等の生涯学習活動の発表の場を提供します」について。現在、どれくらいの団体があるのか、また、今後新しくなり得る団体はあるか。

同計画（案）4多様なニーズに応えるサービスの提供⑤多文化サービス「多言語のおはなし会を実施し、子どもが多言語や多文化に触れることができる機会を提供します」について。素晴らしい取組だと思う。多言語、多文化に触れる機会をもっと増やして欲しい。

事務局回答：現在、図書館で定期的に活動成果の発表をされているのは二団体です。平和に関する写真等の展示を行う「守谷平和の会」と、写真サークルの「フォトクラブ写遊」です。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新規開拓は難しい状況がありますが、公民館等で活動するサークル等を視野に入れて検討していきたいと考えております。